

1 単元 Sunshine English Course 2 Program6 Our hopes, Our Plans

2 指導観

- 国際化がすすむ日本において、中学生が国際的な視野に立ったものの見方や考え方を身につけることは重要である。また、携帯電話やパソコンなどの通信技術の急速な発展により、様々な情報を簡単に収集できたり、インターネットなどを通して海外の人々や文化にふれたり、お互いにコミュニケーションを図ることができるようになってきた。しかし、メールなどに夢中になり、直接人と話したり、自分の思いや考えを伝えたりすることが苦手な生徒が増えてきているように感じる。これからの国際社会を豊かに生きていくために、積極的に自分の意志を人に伝えることができる実践的コミュニケーション能力を身につけさせることが英語教育における重要な課題であると考え。

本題材は、主人公の由紀が、以前交換留学生として訪れたシドニーの学校の生徒たちと、テレビ会議で自分たちが将来したいことや、将来なりたいものについて話し合う内容である。英語を通して自分の思いや考えを伝えたり、友だちの将来の夢を聞いて理解したりすることは、これからの国際社会を生きる生徒たちが実践的コミュニケーション能力を身につけていくうえでも意義のある単元である。

言語材料として、「to 不定詞」の3用法が取り上げられており、その理解と運用を通して、自分たちの将来や、その目標を英語で表現していくことで、自己表現のはばのひろがり期待できる。

- 本学級の生徒は、35名（男子15名、女子20名）である。生徒たちは授業に真剣に取り組んでおり、ノート整理やプリント整理などにも熱心に取り組む姿が見られる。しかし教師の発問に対して積極的に答える生徒は少ない。毎時間の授業では、必ずふりかえりとして基本編と応用編を組み合わせた「書くこと」を取り入れてきた。基本編では単語の並びかえから、ターゲットセンテンスの基礎的な文法構造を確認させている。そして、それぞれの力に応じて応用問題への挑戦を促し、時間内でできるだけ多くの生徒の添削を

している。2年生になってから、この「書くこと」を取り入れてきたが、苦手意識をもちながらも応用に挑戦してみようという生徒が非常に多く、「大事などころをまとめることができる。」、「自分のわからないところが確認できる。」、「自分のことを書くことで、表現を自分のものにできる。」と、肯定的に捉えている生徒が多い。事前アンケートでは、多くの生徒が「聞くこと」や「話すこと」が好きだと答えているが、「書くこと」に苦手意識をもっている生徒が多い。生徒の多くは、「書くことが面倒くさい」と不満に思うこともあるようだが、ふりかえりの活動や、練習プリントなどを通して確実に自分の力として身に付いていると実感しているようである。授業では、「書くこと」に重点をおき、「話すこと」とのつながりを意識しながら、生徒一人ひとりに英語で表現することの楽しさや成就感を味わわせていきたい。

- 指導にあたっては、今後の職場体験学習とのつながりを意識し、この単元の学習が生徒の「立志」（福岡スタンダード）につながることを期待している。そのために、様々な職業や「～になりたい」という基本文を繰り返し練習し、インタビュー活動を通して、表現の定着を図る。また、日頃の授業の流れを大切にし、自分の思いを「話すこと」、友だちの考えを「聞くこと」、そして自分の思いや、友だちの考えを「書くこと」ができるようにしたい。英語が苦手な生徒に対しては、きめ細かに声かけを行ったり、補助プリントを活用させたりと、英語を使う機会を少しでも多くつくらせたい。また、英語が得意な生徒を **Student teacher** に任命し、教え合いをさせながら、すべての生徒が自分の思いを英語で表現することができるようにし、英語で表現することができたという成就感を味わわせたい。

3 目標

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	・将来について関心を持ち、コミュニケーション活動において積極的に話したり、書いてまとめたりしようとしている。
表現の能力	・“to 不定詞”の文型を適切に運用し、自分の思いや、行動の目的について言ったり、書いたりすることができる。
理解の能力	・友だちの話している内容を聞いて理解することができる。 ・基本文を理解し、本文の内容を理解することができる。
言語や文化についての 知識・理解	・“to 不定詞”の3用法について文のしくみを理解している。

4 指導計画（8時間）

配時	学習活動・内容	指導上の留意点	評価規準 (評価の方法)	評価基準（関心・意欲、表現、理解、言語・文化）		Cと判断される 生徒への手だて
				A	B	
1	<p>将来自分のなりたいたいものや友だちのなりたいたいものについて発表しよう！</p> <p>S1の基本本文を理解し、それを用いて表現活動を行う。 ・不定詞の名詞的用法、特に「～したい」について定着を目指す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 多くの表現を提示し、口頭練習を多く取り入れる活動を設定する。 グループの状況に応じながら自己表現の練習や発表を行わせる。 	<p>関：ペアやグループ活動に意欲的に取り組もうとしている。＜様相チェック＞</p> <p>言：不定詞の名詞的用法について文のしくみを理解している。＜プリントチェック＞</p>	<ul style="list-style-type: none"> 協力してペアやグループ活動に取り組もうとしている。 相手に意欲的に質問し、答えようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 不定詞の名詞的用法を用いて、自分の思いを的確に伝えることができる。 例文を参考に、英文で表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 例文を提示し、不定詞の名詞的用法の決まりに気づかせ、多くの英文を書くよう指示する。
本時 1	<p>S1の基本本文から、「～になりたい」という表現につなげていく。 ・表現活動を行い、定着を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> できるだけ多くの人に質問するよう、机間指導をしながら、助言を行う。 こまめに机間指導を行いながら、英作文の添削も行っていく。 	<p>関：インタビュー活動に積極的に取り組もうとしている。＜様相チェック＞</p> <p>表：自分のなりたいたいものや、友だちのなりたいたいものについて表現することができる。＜プリントチェック・発表チェック＞</p> <p>理：友だちのなりたいたいものについて理解することができる。＜プリントチェック＞</p>	<ul style="list-style-type: none"> 不定詞の名詞的用法を用いて、正しく表現することができる。積極的に発表まで行うことができる。 友だちのなりたいたいものについて、理由まで聞き取ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 不定詞の名詞的用法を用いて、例文を参考にしながら自己表現をすることができる。 友だちのなりたいたいものを聞き取ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自己表現を進めやすいようなヒント入りの補助プリントを準備する。 キーワードを与えるなど、理解を促す。
1	<p>S1の新出単語、教科書の本文を理解し、Q&Aに答える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 内容を読み取らせ、大意をつかめるように、ヒントになる単語カードや絵、写真などを提示する。 	<p>理：登場人物のしたいことについて、内容を理解している。＜プリントチェック＞</p>	<ul style="list-style-type: none"> 本文の内容に関する質問に80%以上答えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文の内容に関する質問に50～79%答えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 絵や単語カードなどを参考にしながら、キーワードを聞き取らせ、ワークシートへの記入を支援する。
2	<p>S2の基本本文を理解し、それを用いた表現活動をする。 ・不定詞の副詞的用法</p>	<ul style="list-style-type: none"> 不定詞の副詞的用法が使われる状況や、その用法を正しく理解させる。 	<p>言：不定詞の副詞的用法について文のしくみを理解している。＜プリントチェック＞</p> <p>表：不定詞の副詞的用法を用いて、英文をつくることができる。＜プリントチェック＞</p>	<ul style="list-style-type: none"> 不定詞の副詞的用法を用いて、状況に応じて的確に表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 例文を参考に、英文で表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 例文を提示し、不定詞の副詞的用法の決まりに気づかせ、多くの英文を書くよう指示する。
	<p>S2の新出単語、教科書の本文を理解し、Q&Aに答える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> キーワードを読み取らせ、大意をつかめるように、ヒントになる単語カードや絵、写真などを提示する。 	<p>理：登場人物のしたいことについて、内容を理解している。＜プリントチェック＞</p>	<ul style="list-style-type: none"> 本文の内容に関する質問に80%以上答えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文の内容に関する質問に50～79%答えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 絵や単語カードなどを参考にしながら、キーワードを聞き取らせ、ワークシートへの記入を支援する。
2	<p>S3の基本本文を理解し、それを用いた表現活動をする。 ・不定詞の形容詞的用法</p>	<ul style="list-style-type: none"> 不定詞の形容詞的用法が使われる状況や、その用法を正しく理解させる。 	<p>言：不定詞の形容詞的用法について文のしくみを理解している。＜プリントチェック＞</p> <p>表：不定詞の形容詞的用法を用いて、英文をつくることができる。＜プリントチェック＞</p>	<ul style="list-style-type: none"> 不定詞の形容詞的用法を用いて、状況に応じて的確に表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 例文を参考に、英文で表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 例文を提示し、不定詞の形容詞的用法の決まりに気づかせ、多くの英文を書くよう指示する。
	<p>S3の新出単語、教科書の本文を理解し、Q&Aに答える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> キーワードを聞き取らせ、大意をつかめるように、ヒントになる単語カードや絵、写真などを提示する。 	<p>理：スピーチの内容を聞き取り、内容を理解することができる。＜プリントチェック＞</p>	<ul style="list-style-type: none"> 本文の内容に関する質問に80%以上答えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文の内容に関する質問に50～79%答えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 絵や単語カードなどを参考にしながら、キーワードを聞き取らせ、ワークシートへの記入を支援する。
1	<p>不定詞の3用法を用いて、2時間目を書いた自己表現をさらにふくらませ、まとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 不定詞のまとめとして、3用法の正しい使い方を再度確認させ、自己表現をふくらませる。 	<p>表：不定詞の3用法の使い方を正しく理解し、自分の思いを伝えようとするような英文を書くことができる。＜プリントチェック・発表チェック＞</p>	<ul style="list-style-type: none"> 不定詞の3用法を用いて、まとまりのある英文を正確に5文以上書くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 基本本文を使って、正確に3～4文の英文を書くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 単語や例文を提示し、ヒントを与えながら支援を行っていく。

5 本時 平成21年10月7日(水曜日) 第5校時 場所 2年〇組 教室

(1) 本時の目標

- ・将来、自分のなりたいたいものや、友だちのなりたいたいものについて積極的にインタビュー活動に取り組む。(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- ・不定詞を用いて自分のなりたいたいものや、友だちのなりたいたいものについて表現することができる。(表現の能力)
- ・インタビュー活動を通して友だちのなりたいたいものについて、理解することができる。(理解の能力)

(2) 本時の指導観

前時までに生徒は、不定詞の名詞的用法を用いて「～になりたい。」という基本文を理解している。

本時は、その不定詞の名詞的用法を用いて、将来なりたいたいものについて書くことをねらいとする。まず、ウォームアップとして職業名を用いたビンゴを行い、復習として基本文を口頭で反復練習させる。次に、ペアでインタビュー活動をさせ、不定詞の名詞的用法に慣れさせる。さらに、自己表現活動(書くこと)を通して基本文の定着を図る。最後に、インタビュー活動を通して得た友だちの情報もふまえて、自分の思いや考えを発表させたい。お互いに協力しているペアや班をほめながら、苦手意識をもっている生徒に対して、生徒同士でサポートできるようにしていきたい。

(3) 準備 ①ビンゴカード ②ノート ③ワークシート ④辞書

6 過程

学習活動・内容	資料用具	指導上の留意点	形態	配時	評価規準 (評価の方法)	評価基準		Cと判断される 生徒への手だて
						A	B	
1 Greeting			一斉	2				
2 Warm-up (ビンゴ)	①		一斉	5				
3 本時のめあての確認	②		個人 個人	1				
将来なりたいたいものについて 書いてみよう!								
4 基本文の復習, 練習 ・基本文を口頭練習する “What do you want to be in the future?” “I want to be ~, because…”	②	・生徒に質問しながら、不定詞の名詞的用法を使うことを確認させる。	一斉	5				
5 インタビュー活動 ・ペアで質問をする ・答をメモとして記録していく	③	・確実に英語で質問したり、答えたりするよう机間指導をしながら、助言を行う。	全体 活動	10	関: インタビュー活動に積極的に取り組もうとしている。 <様相チェック>	意欲的に質問し、答えようとしている		
6 英作文 ・不定詞の名詞的用法を用いて、自分のことと、インタビューで得た情報をもとに友だちのことを書く	③ ④	・こまめに机間指導をしながら、英作文の添削も行っていく。 ・Student teacher を任命し、教え合いを促す	個人 班	15	表: 自分のなりたいたいものや、友だちのなりたいたいものについて表現することができる。<プリントチェック・発表チェック>	・不定詞の名詞的用法を用いて、正しく表現することができる。積極的に発表まで行うことができる。	・不定詞の名詞的用法を用いて、例文を参考にしながら自己表現をすることができる。	・自己表現を進めやすいようなヒント入りの補助プリントを準備する。
7 発表 ・英作文で書いた内容を発表する	③	・発表をする態度、聞き方のポイントを確認する。	個人	8	理: 友だちのなりたいたいものについて理解することができる。<プリントチェック>	・友だちのなりたいたいものについて、理由まで聞き取ることができる。	・友だちのなりたいたいものを聞き取ることができる。	・キーワードを与えるなど、理解を促す。
8 本時のまとめ ・基本文を確認する		・何人かに質問をし、基本文を用いて答えさせる。	一斉	3				
9 次時の予告とあいさつ			一斉	1				

3. 友だちの発表を聞こう！！

★発表のしかた★



Hi, I'm [].

_____ (自分が将来なりたいものについて言おう) .

I asked [友だちの名前] about his/her future.

_____ (友だちが将来なりたいものについて言おう) .

Thank you.

★発表を聞いてわかったことをメモしよう★

名 前	なりたいもの	理 由

4. 自己評価

①積極的に英語を使って、友だちとコミュニケーションがとれた。	4	3	2	1
②間違いを恐れずに、自分から英語を使って話そうとした。	4	3	2	1
③友だちの発表を聞いて、理解することができた。	4	3	2	1
④将来なりたいものについて書くことができた。	4	3	2	1
<ひとこと感想>				

★先生から★
